１　「日記」 ─中古の日記

16年度　福岡大学

★　次の文章を読んで後の設問に答えよ。

　花の咲き散るをりごとに、乳母なくなりしをりぞかしとのみあはれなるに、同じをりなくなり給ひＷし侍従の大納言の御むすめのａ手を見つつ、ｂすずろにあはれなるに、五月ばかり、夜ふくるまで物語をよみて１起きゐたれば、ｃ来つらむ方も見えＸぬに、猫のいとなごうないたるを、おどろきてア見れば、いみじうをかしげなる猫あり。いづくより来つる猫ぞと見るに、姉ｄなる人、「あなかま、人に聞かすな。いとをかしげなる猫なり。飼はむ」とあるに、いみじう人なれつつ、かたはらにうち２臥したり。ｅ尋ぬる人やあると、Ⅰこれをかくして飼ふに、すべて下衆のあたりにもよらず、つと前にのみありて、物もきたなげなるはほかざまに顔をむけてイくはず。姉おととの中につとまとはれて、をかしがりらうたがるほどに、姉のなやむことあるに、ものさわがしくて、ｆこの猫を北面にのみあらＹせて呼ばねば、かしかましくなきののしれども、なほⅡさるにてこそはと思ひてウあるに、わづらふ姉おどろきて「いづら、猫は。ｇこちゐて来」とあるを、「など」と３問へば、「夢にこの猫のかたはらに来て、おのれは侍従の大納言殿の御むすめのⅢかくなりたるなり。さるべき縁のいささかありて、このｈ中の君のすずろにあはれとエ思ひ出で給へば、ただしばしここにあるを、このごろ下衆の中にありて、いみじうわびしきことと言ひて、いみじうなくさまは、ｉあてにをかしげなる人と見えて、４うちおどろきたれば、この猫の声にてありＺつるが、いみじくあはれなるなり」と語り給ふを聞くに、いみじくあはれなり。その後はｊこの猫を北面にも出ださず思ひかしづく。

問１　傍線部ａ、ｂ、ｉの意味として最も適当なものを次の選択肢から選べ。

　　１　琴　　　　　１　嬉しく　　　　　　１　高貴で

　　２　筆跡　　　　２　さびしく　　　　　２　やたらと

ａ　３　手柄　　ｂ　３　少し　　　　　ｉ　３　一段と

　　４　　　　　４　肌寒く　　　　　　４　慕わしく

　　５　形見　　　　５　なんとなく　　　　５　憎らしいほど

問２　傍線部１～４の主語として最も適当なものを次の選択肢から選べ。

１　乳母　　２　侍従の大納言　　３　侍従の大納言の娘　　４　姉

５　猫　　　６　下衆　　　　　　７　作者

１＝［　　　］　　２＝［　　　］　　３＝［　　　］　　４＝［　　　］

問３　傍線部ｃの文法的説明として適当なものを次の選択肢から選べ。

１　動詞「来」の連用形＋完了「つ」の終止形＋原因推量「らむ」の連体形

２　動詞「来」の連用形＋完了「つ」の未然形＋推量「む」の連体形

３　動詞「来」の連用形＋完了「つ」の終止形＋現在推量「らむ」の連体形

４　動詞「来」の終止形＋強意の助詞「つ」＋動詞「あり」の未然形＋推量「む」の連体形

５　動詞「来」の終止形＋強意の助詞「つ」＋現在推量「らむ」の連体形

問４　傍線部ｄと文法的に同じものを次の選択肢から選べ。

１　乳母なくなりしをりぞかし

２　いみじうをかしげなる猫あり

３　いみじう人なれつつ

４　御むすめのかくなりたるなり

５　いみじくあはれなるなり

問５　傍線部ｅの解釈として最も適当なものを次の選択肢から選べ。

１　猫を探している人がいるかもしれない

２　姉を訪れて来る人がいるかもしれない

３　猫のことを尋ねる人なんているものか

４　姉の元を訪れる人もいるのだ

５　猫のことを探している人がいるのだ

問６　傍線部ｆの理由として最も適当なものを次の選択肢から選べ。

１　大変美しい猫だったから

２　食べ物の好き嫌いが激しかったから

３　人が猫のことを不審に思ったから

４　人々に中々なつかなかったから

５　姉が病気をして寝込んだから

問７　傍線部ｇを十字以内で現代語訳せよ。

［　　　　　　　　　　　　　　　］

問８　傍線部ｈはだれのことを指すか。問２の選択肢から選び、その番号を記せ。

［　　　］

◎問９　傍線部ｊのようにしたのはどのようなことを信じるようになったからか。それが書かれている最も適当な部分を本文中から二十五字以内で抜き出し、最初と最後の三字を記せ。

［　　　　　］〜［　　　　　］

問10　次の文は、作者が侍従の大納言の娘がなくなったときに慰められた物語の続きを読みたいと願った言葉である。（　）に入る適当な作品名を漢字で記せ。

「この（　　）、一の巻よりしてみな見せたまへ」

［　　　　　　　　］

【確認問題】

１　波線部ア～エの動詞の活用の種類と活用形を答えよ。

ア（　 　行　　　　　活用　　　　　形）

イ（　 　行　　　　　活用　　　　　形）

ウ（　 　行　　　　　活用　　　　　形）

エ（　 　行　　　　　活用　　　　　形）

２　波線部Ｗ～Ｚの助動詞の文法的意味と活用形を答えよ。

Ｗ（　　　　　）・（　　　　　　形）

Ｘ（　　　　　）・（　　　　　　形）

Ｙ（　　　　　）・（　　　　　　形）

Ｚ（　　　　　）・（　　　　　　形）

【補充問題】

３　二重傍線部を現代語訳せよ。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

４　姉の夢で猫が語った部分を本文中から最初と最後の三字で抜き出せ。

［　　　　　］〜［　　　　　］

５　点線部Ⅰ～Ⅲの指示語の指す内容を簡潔に説明せよ。

Ⅰ＝（　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ⅱ＝（　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ⅲ＝（　　　　　　　　　　　　　　　　）

【解答】

問１　ａ＝２　ｂ＝５　ｉ＝１

問２　１＝７　２＝５　３＝７　４＝４

問３　３

問４　５

問５　１

問６　５

問７　ここに連れて来なさい（10字）

問８　７

問９　おのれ～るなり

問10　源氏物語

【確認問題】

１　ア＝マ行上一段活用已然形

　　イ＝ハ行四段活用未然形

　　ウ＝ラ行変格活用連体形

　　エ＝ダ行下二段活用連用形

２　Ｗ＝過去・連体形　Ｘ＝打消・連体形

　　Ｙ＝使役・連用形　Ｚ＝完了・連体形

【補充問題】

３　姉が病気になることがあって

４　おのれ～きこと

５　Ⅰ＝猫　Ⅱ＝鳴き騒ぐ　Ⅲ＝猫の姿

【現代語訳】

　桜の咲き散る折りごとに、乳母が亡くなった季節だなあとばかりしみじみと感じられるが、同じ頃に亡くなられた侍従の大納言の姫君の筆跡を見ながら、なんとなく悲しみに沈んでいると、五月ごろ、夜が更けるまで物語を読んで起きていたところ、どこから来たのかその方向もわからないが、猫がとても穏やかに鳴いたので、驚いて見ると、たいそうかわいらしい猫がいる。どこから来た猫だろうかと見ていると、姉である人が、「しっ静かに、人に（猫の声を）聞かせてはなりません。とてもかわいらしい猫である。飼いましょう」ということで（飼ってみると）、（猫は）たいそう人慣れした様子で、（私たちの）側に体を横たえて眠った。（猫を）探している人がいるかもしれないと、これ（＝猫）を隠して飼っていると、使用人などの側にはまったく近寄らず、じっと（私たちの）前にばかりいて、食べ物もみすぼらしいものは別の方向に顔を背けて食べない。姉や妹（の私）の側にぴったりまとわりつき、（私たちも）おもしろがってかわいがっていたその頃に、姉が病気になることがあって、（家の中が）なんとなく慌ただしく、この猫を北面の部屋にばかりいさせて（こちらへ）呼ばなかったところ、やかましく鳴き騒いだが、やはり何か理由があってそうする（＝鳴き騒ぐ）のだろうと思って（そのままにして）いたところ、病気の姉が目を覚まして「どこに行ったの、猫は。ここに連れて来なさい」と言うので、「どうしたの」と聞くと、「夢でこの猫が側に来て、『私は侍従の大納言の姫君でこのような姿（＝猫の姿）になっているのです。こうなるべき前世からの因縁が少しあって、この中の君（＝作者）が（私のことを）しきりに慕わしく思い出してくださるので、少しの間ここにいるだけなのに、この頃は使用人たちの間にいて、とても寂しいこと（です）』と言って、たいそう鳴く様子は、高貴で美しい人であると見えて、はっと目を覚ましたところ、この猫の声であったのが、とてもしみじみと感じられたのです」とお話しになるのを聞くと、たいそう胸を衝かれる思いである。それから後はこの猫を北面にも出さず大切に思って世話をする。